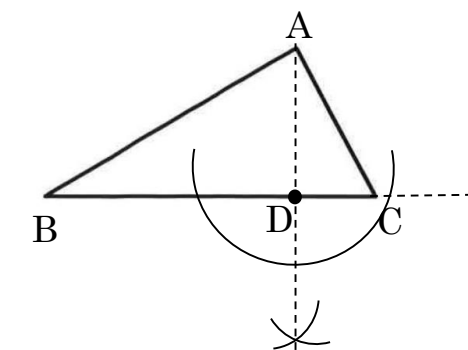


1	①	-11
	②	-42
	③	$6a - 11b$
	④	$-\frac{8}{3}a^2b$
	⑤	$7 + \sqrt{10}$
	⑥	$x = 5 \pm \sqrt{19}$
	⑦	$\frac{3}{5}$
	⑧	$\frac{256}{3}$ (cm ³)
	⑨	32 (度)
	⑩(1)	22.5
	⑩(2)	0.25

3	①(1)	2
	①(2)	3
	②	$y = x + 4$
	③	$4\sqrt{2}$
	④(1)	台形
	④(2)	AE:DF:EB:FC=4:3:2:1である。 これらを上底, 下底の台形とすると 高さが同じであることから面積の比は (上底) + (下底) の比である。 すなわち (4+3):(2+1)=7:3... (答え)

5	①	
	②(1)	15 (m)
	②(2)	△ABDと△CADにおいて 仮定より ∠ADB=∠CDA=90°...① ∠CAD=a とすると ∠CAB=90° より ∠BAD=90°-a...② また, △CADにおいて ∠ACD=90°-a...③ ②③より ∠BAD=∠ACD...④ ①④から2組の角がそれぞれ等しい ので △ABD∽△CAD 終
	②(3)	20 (m)
	②(4)	$\frac{40}{3}$ (m)
	③	$6\sqrt{3}$ (m ³)

2	①	$y+12$ (個)
	②	$\begin{cases} x+y+y+12=110 \\ x+5=\frac{1}{4}y+y+12 \end{cases}$
	③	42 (個)

4	①(あ)	4200 (本)
	①(い)	12600 (本)
	①(う)	12.6 (kg)
	②(1)	$y = \frac{1}{2000}x$
	②(2)	20000 (本)
	③(1)	29 (年)
	③(2)	1年 7ヶ月